

区分：人文・社会科学

授業科目名	社会と歴史(フランス近世社会史)					学期	曜日	校時
英語名	Society and History(Social History of Modern France)							
担当 教官名	正本忍	単位数	2単位	必修 選択	選択	後期	月曜日	校時
授業のねらい・内容・方法								
<p>歴史を学ぶ際、政治、経済、制度などに関する理解は不可欠である。しかし、日常的なテーマを通して歴史にアプローチすることもまた、歴史をより全体的に、より深く理解するためには必要な作業である。本講義では、17・18世紀のフランス社会を、現代の我々の生活にも密着した以下の視点から見ていくことにしたい。現代のフランスや日本の日常生活に潜む様々な問題群へも受講生諸君の関心が向かうような講義としたい。</p>								
テキスト、教材等								
テキストは用いず、資料を配付する。参考文献は講義中に紹介する。								
対象学生	成績評価の方法				教官研究室			
全学部	試験、ノート提出、レポート、出席などによって評価する。							
授業計画								
<p>以下のテーマを扱う。（順序は未定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フランス その国土と景観 ・パリの歴史 ・病 ・死のイメージ ・性 ・家族・結婚 ・子ども ・食事・料理 ・服飾 ・犯罪 ・魔女狩り ・性的不能者裁判 <p>講義内容に関連するビデオを鑑賞する回を設ける予定である。</p>								